

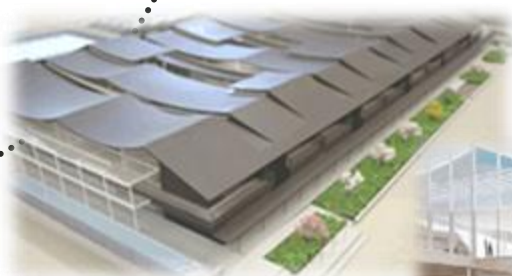
「中学生の昼食のあり方 検討チームを設ける」と市長答弁

中学校給食の実現を…13000筆を超える署名運動が市民の大きな関心と呼んでいます。その反映もあって9月議会一般質問には、4会派から「給食」問題に関する質問が提出されました。これまで市当局は「愛情弁当」一辺倒で、保護者や市民の切実な声に耳を傾けようとしてきませんでした。10日の一般質問に対し、市長は「中学生の昼食のあり方について、検討する時期になった。教育委員会に検討チームを設ける」と答弁。粘り強く取り組まれている署名運動が大きな力になっています。

要求署名が大きな力に

8月29日開会した守山市の9月定例議会は、10日から論戦が始まりました。一般質問には、16人が質問通告。議案では、来年4月から本格施行の「子ども子育て新制度」に伴う保育園・幼稚園・学童保育に関する新規条例など、また、入札不調が相次ぎあらためて問題になっている守山中学校の校舎改築に関する補正予算、そして昨年度の各会計決算認定…、手話言語法制定をもとめる請願など、注目される内容が多々あります。委員会傍聴にもお越しくください。

中学校給食問題で4会派が質問



入札不調続く守山中学校新校舎



コンペで最優秀に選ばれたデネフェス計画研究所の作品

労務単価や建設資材の高騰…が「入札不調」の要因というが…

守山中校舎改築6億3700万円補正

最大の要因は技術力と施行管理

守山中学校の校舎改築計画は、全国でも珍しいコンペ方式で、デネフェス計画研究所の設計が採用され、この間、基本設計・実施設計とすすみ、いよいよ工事請負契約へ。ところが、この工事請負の入札が相次ぎ不調になり建設業者が決まらない事態に。その要因は「労務単価や建設資材の高騰」で予定価格が低すぎる、というもので、今議会には6億3700万円の追加補正が提案されています。しかし審議の中で、こうした社会的な要素が

ひとつの要因であることは事実ですが、そもそも設計が高度の技術力と施行管理を要するだけに、請け負う企業が限られている、という要因も多分に影響しています。

き抜け空間の断熱性、雨仕舞や細部の納まり等に課題がある」と指摘。「構造技術・施行管理で解消できると判断する」としています。小牧議員は、「選定委員会も指摘している懸念が、技術者不足の中で、入札不調となっている要因。教育施設はデザインよりも中身の充実に見直すべきではないか」として、補正予算に反対しました。

小牧議員、問題点を指摘

沖縄一斉地方選 共産党3議席増



全国注視の沖縄県内一斉地方選は7日投開票されました。名護市議選（定数27）では、辺野古・新基地建設反対を貫く稲嶺進市長を支持する14人が当選し、市政与党が過半数を維持するなど、1月の稲嶺市長再選に続いて新基地反対の揺るがぬ民意が再び示されました。日本共産党は名護市で新人の仲里克次氏（47）がトップ当選したのをはじめ、5市10町村で22人中21人当選、投票率が低下する中、沖縄市、北谷（ちゃたん）町でそれぞれ議席を増やし、東村（ひがしそん）で党議席空白を克服し前回比で3議席増。得票数・率とも10市町村で伸ばす大躍進でした。

日本共産党
守山民報

守山市議会議員

小牧一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki-jcp-web.net/

守山市議会議員

松葉栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466